

第 20 回社会福祉士 専門科目
「老人福祉論」
解答(やまだ塾解答速報の訂正版)・解説(簡易版)

2008 年 3 月 7 日 掲載

今年度は解答速報の段階ではあえて解答を 1 つに絞って掲載した。

その後は解答速報の逐一の訂正はしなかったが、今回の解説(簡易版)とあわせてやまだ塾の解答速報の訂正を行う。

また、複数回答(解なしを含む)の可能性のある問題も今回指摘している。

なお、国家試験として疑義のある問題については、4 月以降に掲載する解説(詳細版)の段階において、昨年度同様に「脇の甘い問題」として掲載する予定である。

「老人福祉論」の訂正箇所	①問題 85 : 1 → 4 に訂正 ②問題 87 : 5 → 4 に訂正
--------------	--

番号	設問	解答速報 (1/28.6:10)	やまだ塾の 解答(解答速報の訂正版)と解説(簡易版)
81	認知症高齢者の ケア	2	やまだ塾の解答:2 1×「“自立度判定基準のⅢ”の説明である」 2○ 3×「“30 点満点で、20 点以下は認知症”である」 4×「脳血管性認知症の説明である」 5×「保たれていない」
82	高齢者虐待の防 止	2	やまだ塾の解答:2 A○ B×「“通報しなければならない”と規定されている」 C×「“高齢者虐待防止法:2005 年 11 月成立、2006 年 4 月施行、 介護保険法:1997 年成立、2000 年施行”である」 D○
83	高齢者の住宅及 び住環境にかか わる施策	5	やまだ塾の解答:5 A×「1996 年改正時に規定された」 B×「“その翌年”でなく1996 年である」 C○ D○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

84	高齢者の心理的特性や社会的特性	3	<p>やまだ塾の解答:3</p> <p>1×「プロダクティブ・エイジングは、高齢者を社会の弱者や差別の対象として捉えるのではなく、老いてもなお社会にとって必要な存在としてあり続けることをめざしている」</p> <p>2×「意味記憶とエピソード記憶の説明が逆である」</p> <p>3○</p> <p>4×「低下する」</p> <p>5×「解説は不要でしょう(愚問)」</p>
85	市町村老人保健福祉計画(市町村老人福祉計画及び市町村老人保健計画)	1 (4に訂正する)	<p>やまだ塾の解答:4</p> <p>A×「“調和が保たれ”ではなく“一体的に策定し”である」</p> <p>B○</p> <p>C×「“当該市町村における老人に対する医療等以外の保健事業の実施に関し、機能訓練及び訪問指導について確保すべき事業の量の目標その他必要な事項の目標を定める”と規定されている」</p> <p>D○</p> <p><訂正の理由></p> <p>・「地域福祉計画等・・・と調和が保たれたものでなければならない」の規定と混同した。引っ掛け問題に引っかかった。</p>
86	ケアマネジメントのモニタリング	5	<p>やまだ塾の解答:5</p> <p>1×「長期目標・短期目標が実現できたかどうか等を確認することである」</p> <p>2×「それぞれの目標を設定する」</p> <p>3×「“介護支援専門員は、少なくとも1か月に1回、利用者の居宅を訪問し、利用者に面接してモニタリングする”と規定されている」</p> <p>4×「介護支援専門員1人が行う」</p> <p>5○</p>
87	老人福祉関連分野の組織・機関の連携	5 (4に訂正する)	<p>やまだ塾の解答:4</p> <p>1×「5の説明が対応する」</p> <p>2×「3の説明が対応する」</p> <p>3×「2の説明が対応する」</p> <p>4○</p> <p>5×「1の説明が対応する」</p> <p><訂正の理由></p> <p>・解答番号の記載ミス。</p>

88	訪問介護員が早 めに行うことが 望ましいと考えら れる対応	2	<p>やまだ塾の解答:2</p> <p>AO</p> <p>BO</p> <p>C×「消費生活センターが行う消費者被害の防止についての情報」である」</p> <p>D×「在宅生活を維持するための社会資源を十分に活用することが優先されるべきである」</p>
89	相談を受けた地 域包括支援セン ターの社会福祉 士の対応	4	<p>やまだ塾の解答:4</p> <p>A×「申立権者がいる場合に市町村長が後見開始の審判を申し立てることはない」</p> <p>BO</p> <p>CO</p> <p>D×「その間に」は、「福祉サービス利用援助事業」などの社会資源の活用を考慮すべきである</p>
90	地域包括支援セ ンターの社会福 祉士の対応	2	<p>やまだ塾の解答:2</p> <p>AO</p> <p>B×「経済的な破綻がないケースであり、自己破産制度の利用はありえない」</p> <p>CO</p> <p>DO</p>